

会社	会社名	株式会社 セブン-イレブン・ジャパン		
概要	従業員数	8,054人(平成28年2月末現在)	業種	小売業

1. ねらい

セブン-イレブン・ジャパンでは、社員のワーク・ライフ・バランスの実現が優秀な人材の確保や社員の新たな視点にも繋がり、企業の発展に結びつくと考えています。
社員一人ひとりが安心して仕事を継続し、能力を発揮できる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

2. 施策内容

A. 「働き方・休み方改革」

セブン&アイHLDGS.では井阪社長自ら社内外に向けて「労働時間革命宣言」を実施。残業を削減しグループ全体で生産性の高い仕事の仕方を推進している。

(1) 働き方改革

- ・管理職の評価基準に部下の残業時間の項目を入れ、部下のマネジメントを徹底している
- ・管理職に対して部下の残業時間が見える化を実施。業務効率の指導を促している
- ・長時間労働者には、人事部・産業医と面談を実施して問題の抽出とフォローアップを行っている

(2) 休み方改革

連続休暇

- ・年に2回、9日間の連続休暇を取得促進し、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る

育児休暇

- ・男性の育児参加促進する為に、2015年3月に1日単位で取得できる「育児休暇」を新設
社内会議で、情報発信をし「取得のガイドブック」を作成し社員に配布するなど取得を促進

B. 「仕事と介護の両立支援」

目標を介護離職ゼロと定め、両立の制度の整備と、社員への周知を徹底

(1) 介護と仕事の両立の為に法定を上回る制度の整備

- ・介護休職制度……介護の為に最大365日未満の休職が可能
- ・時間短縮勤務制度……1日の就業時間を4~7時間の中15分単位で自ら選択が可能（休憩時間含まない）
会議での発信、イントラへの掲載を実施

(2) 個人の課題抽出

- ・社内の調査項目に「介護」に関する内容を追加
①従業員意識調査②年に3回の上司との面談時の記入用紙
実態把握とともに、仕事と介護の両立をする上での課題の抽出

(3) 啓蒙活動

- ・セブン&アイHLDGS.全社共通で、「介護セミナー」を開催。(3回実施)
- ・専門家である外部講師から「介護と仕事の両立について」の知識を学ぶと共に、
介護予備軍の、不安を感じている社員の交流の場を提供し、両立の後押しをしている



取得ガイドブック



管理職向けハンドブック

3. 取組実績・効果

①有給休暇年間の取得日数

年間有給休暇取得日数 48.9%の増加 (2011年度と2015年度の比較)

① 月平均残業時間 (対象全社員)

月平均残業時間 34.2%の削減 (2011年度と2015年度の比較)

③育児休暇取得状況

男性取得人数：400名 (15年3月16日~16年2月末) 管理職の取得も進み、男性の育児参加のも活発